

産総研技術シーズWeb説明会 ※別途申し込みが必要です。

12:05~12:50

技術シーズのうち産総研の技術シーズについては、九州・沖縄産業技術オープンイノベーションデー当日11月22日(火)12:05~12:50にWeb説明会を実施します。詳細は申込フォームにてご確認ください。

3 支援機関等の活動紹介

産総研九州センターホームページ掲載

各支援機関等の活動紹介について、産総研九州センターホームページ(https://www.aist.go.jp/kyushu/)でご紹介します。また、ホームページ上でご質問・ご相談を受け付けいたしますので、ご関心をお持ち頂ける案件がございましたらご連絡頂ければ幸いです。(ナレーション欄に○がついている案件はホームページ上で1分間の音声によるショートプレゼンをお聞き頂ける予定です)

機関名	テーマ名	ナレーション	機関名	テーマ名	ナレーション
経済産業省 九州経済産業局	九州経済産業局 産業技術革新課・知的財産室のオープンイノベーション(OI)施策	—	公益社団法人 日本技術士会 九州本部	(公益社団法人)日本技術士会及び九州本部の活動ご紹介 (公益社団法人)日本技術士会九州本部「技術の相談」に関する活動ご紹介	—
内閣府 沖縄総合事務局	沖縄産学官イノベーション創出協議会等の取組について	○	一般社団法人 九州地域中小企業等 支援専門家連絡協議会 (九州志士の会)	一人で悩まないで!	○
九州地方知事会・政策連合「工業系公設試験研究機関の連携」ビジョン事務局	地方知事会・政策連合「工業系公設試験研究機関の連携」	—		中小企業のホームドクター	
九州イノベーション創出戦略会議(KICC)	九州イノベーション創出戦略会議(KICC)の概要と取り組み	—		中小企業のあらゆる課題の解決をめざす	
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)	イノベーション・アクセラレータNEDOの研究開発資金を活用して研究シーズ、研究成果を社会へ!	○	あなたに合った中小企業支援施策を紹介	○	
独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)	NLAB共同試験サービスの紹介	○	「新市場創造型標準化制度」の活用支援イメージ図		
独立行政法人 中小企業基盤整備機構 九州本部	中小機構のものづくり支援・J-GoodTech(ジェグテック)	—	「標準化」活用支援によるビジネス戦略の展開事例	○	
	中小機構の経営課題解決支援(ハンズオン支援)				

※プログラムにつきましては変更される場合がありますのでご注意ください。

令和4年度

九州・沖縄 産業技術 オープンイノベーションデー

つかもう!技術 つくろう!ネットワーク

【参加費】
無料

日時 令和4年11月22日《火》9:55-17:10

開催方法 オンライン形式 配信: Cisco Webex 活用予定

「九州・沖縄産業技術オープンイノベーションデー」は、九州・沖縄地域の企業経営者、技術者・研究者への研究成果情報の発信及び中小企業支援機関のコーディネータ等との情報交換を密に行い、相互の連携を活性化させ、オープンイノベーションを促進することを目的に、産業技術総合研究所九州センターと九州経済産業局とが九州・沖縄各県公設試、九州地方知事会、九州イノベーション創出戦略会議等の関係機関と一体となって、平成23年度より実施しています。

第12回目となる令和4年度は、新型コロナウイルスによる新たな生活様式への対応やSDGs、カーボンニュートラルへの対応等、社会環境の大きな変化に迅速に対応する必要に迫られている中、公設試及び産総研の最先端技術や共同研究成果等の情報を積極的に発信し、各機関の利活用促進と相互連携を加速することにより、世界に先駆けた社会課題の解決と経済成長・産業競争力の強化に貢献する地域イノベーションの創出を図ることを目的として開催いたします。

プログラム

- ◆ 産総研九州センター取り組み紹介
- ◆ 基調講演 「我が国の半導体産業戦略と産総研の取り組み」
国立研究開発法人産業技術総合研究所 上級執行役員 TIA推進センター長 金丸 正剛
- ◆ 特別講演 「DX/IoTの本質と半導体」
九州大学大学院システム情報科学研究科情報知能工学部門 教授/九州大学システムLSI研究センター センター長 井上 弘士氏
- ◆ 九州・沖縄地域 企業&公設試・産総研 合同成果発表会

産総研九州センターホームページ掲載

- ◆ 公設試・産総研 技術シーズ紹介
- ◆ 支援機関等の活動紹介

詳細は裏面をご覧ください

令和4年度 九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデー 参加お申し込み

事前申し込み制 [申し込み頂いた方へ、後日、招待メールをお送りいたします。]

下記URL、QRコードの申込フォームよりお申し込み下さい。

申込締切り 令和4年 11月10日(木)

参加申し込み
フォームURL <https://forms.office.com/r/jidTu6iyAs>



詳細は産総研九州センターホームページをご確認ください。

<https://www.aist.go.jp/kyushu/>

【お問い合わせ先】

〒841-0052 佐賀県鳥栖市宿町807-1 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 九州センター
九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデー事務局

TEL (0942) 81-3606 FAX (0942) 81-4089 E-mail q-openday-jimu-ml@aist.go.jp

主催 国立研究開発法人産業技術総合研究所九州センター、経済産業省九州経済産業局
共催 九州・沖縄地域産業技術連携推進会議、産業技術連携推進会議九州・沖縄地域部会、内閣府沖縄総合事務局、福岡県工業技術センター、佐賀県工業技術センター、佐賀県産業技術センター、佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター、長崎県工業技術センター、長崎県産業技術センター、熊本県産業技術センター、大分県産業科学技術センター、宮崎県工業技術センター、宮崎県食品開発センター、鹿児島県工業技術センター、沖縄県工業技術センター、九州地方知事会、九州イノベーション創出戦略会議
後援 (国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(独)製品評価技術基盤機構、(独)中小企業基盤整備機構九州本部、(一社)九州経済連合会、(一財)九州オープンイノベーションセンター、(一社)九州ニュービジネス協議会、(一財)日本規格協会、(株)日本政策金融公庫、(公社)日本技術士会九州本部、(一社)九州地域中小企業等支援専門家連絡協議会(九州志士の会)、(公財)北九州産業学術推進機構

1.開会 9:55

2.産総研九州センター取り組み紹介 10:00~10:20

「センシングシステム研究センターの取り組み」 センシングシステム研究センター 副研究センター長 田原 竜夫
 「九州におけるミニマルファブの取り組み」 ミニマルIoTデバイス実証ラボ 副ラボ長 大園 満

3.基調講演 10:20~11:10

「我が国の半導体産業戦略と産総研の取り組み」

国立研究開発法人産業技術総合研究所 上級執行役員 TIA推進センター長 金丸 正剛



昨年6月に経産省から半導体・デジタル産業戦略が発表され、半導体の国内製造基盤の強化が必要であることとそのための対応策が示されました。その後、「我が国の半導体産業復興」に向けた取り組みが活発に行われています。講演では、その概要を紹介いただくとともに、半導体戦略に基づいて産総研が取り組んでいる先端半導体製造技術の研究開発拠点が目指すものと活動内容について紹介いただきます。

4.特別講演 11:10~12:00

「DX/IoTの本質と半導体」

九州大学大学院システム情報科学研究院情報知能工学部門 教授 / 九州大学システムLSI研究センター センター長 井上 弘士 氏



近年、IoTやDXといったキーワードが飛び交う一方、半導体の重要性が再認識され、新しい流れを形成しようとしている。このような潮流は日本の産業構造や社会活動にどのような変化をもたらすのであろうか?この疑問に答えるべく、本講演では、内閣府戦略的イノベーション創造プログラムの一環として活動を展開しているMy-IoTコンソーシアムの内容を紹介します。そこで得た知見に基づきDXやIoTの本質についてご講演いただき、近未来の情報化社会を支えるコンピューティング技術とそれを支える半導体のあり方について議論いただきます。

5.九州・沖縄地域 企業&公設試・産総研 合同成果発表会 13:00~17:05

企業と各県公設試や産総研との共同研究について、その成果品(製品)の紹介をはじめ、開発の背景、製品化までのプロセス・体制、製品化・販売に成功したポイント、今後の展開・波及効果等についてご紹介します。

	発表テーマ	企業&公設試・産総研
13:00~13:25	『製品企画力高度化支援事業-NIKAWA-の紹介 年輪材の価値を伝えるテーブルの開発』	●株式会社ウエキ産業 ●福岡県工業技術センター
13:25~13:50	『エアバッグ用シートの高速・連続加工を実現する レーザー切断装置の開発』	●武井電機工業(株) ●佐賀県工業技術センター
13:50~14:15	『「陶器のアウトドアクッキングギア」のデザイン開発』	●有藍染窯 ●長崎県窯業技術センター
休憩 14:15~14:25		
14:25~14:50	『格安な産業用カメラによる分光分析 ~Open Sourceによるめっき液等の管理技術開発~』	●熊本県産業技術センター
14:50~15:15	『次世代ワイドバンドギャップ半導体向け パワーモジュールパッケージの開発』	●大分デバイステクノロジー(株) ●大分県産業科学技術センター
15:15~15:40	『電解硫酸技術を活用した屋外で白化しにくい アルミ合金製品と表面処理装置の開発』	●マイクロエース(株) ●宮崎県工業技術センター
休憩 15:40~15:50		
15:50~16:15	『できたての芋焼酎を早く・おいしくお届けする -新しい醸造用資材の開発-』	●日本エクスラン工業(株) ●鹿児島県工業技術センター
16:15~16:40	『生産性向上に向けた織機の改良』	●株式会社あざみ屋 ●沖縄県工業技術センター
16:40~17:05	『霜降り牛肉生産のための血中ビタミンAの 簡易計測システム』	●ウシオ電機(株) ●産業技術総合研究所 ●長崎県農林技術開発センター

※発表順につきましては、今後、変更の可能性がございます。

6.開会 17:10

2 公設試・産総研の技術シーズ紹介

産総研九州センターホームページ掲載

九州・沖縄各県公設試、産総研の技術シーズについて、産総研九州センターホームページ(<https://www.aist.go.jp/kyushu/>)でご紹介します。また、ホームページ上でご質問・ご相談を受け付けいたしますので、ご関心をお持ち頂ける案件がございましたらご連絡頂ければ幸いです。(ナレーション欄に○がついている案件はホームページ上で1分間の音声によるショートプレゼンをお聞き頂ける予定です)

機関名	テーマ名	ナレーション
福岡県工業技術センター	甘夏みかんの自動外皮剥皮装置の開発	○
	化粧品・健康食品用プラセンタエキスの開発支援事例	○
	製品企画力高度化支援事業-NIKAWA-の紹介	○
	ゴム・プラスチック等高分子材料・複合材料の開発支援	○
	極限状態で液化水素運搬キャリアを支えるGFRPへのめっき技術の開発	○
佐賀県工業技術センター	皮膚細胞に対するレンコンポリフェノールの抗老化作用	○
	諸富家具産地へのデザイン思考普及に関する取組	○

機関名	テーマ名	ナレーション
佐賀県窯業技術センター	新規陶磁器材料の用途開発に関する研究	—
	NCローラーマシン成形機の制御因子が製品に与える影響の統計解析	—
佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター	佐賀県立九州シンクロトロン光研究センターの施設の紹介(どんなところ?)	○
	佐賀県立九州シンクロトロン光研究センターの利用事例の紹介(何が出来る?)	○
長崎県工業技術センター	長崎県工業技術センターの概要	—
	食品開発支援センター	—
	現場ニーズに即したファインパブルの簡易計測及び洗浄利用に関する研究	○
	海水魚展示蓄養水槽の開発	○
長崎県窯業技術センター	県産品の課題解決及び付加価値向上のためのデザインの導入と商品開発	○
	可塑性を付与した陶土の開発と陶磁器製造における品質管理データベースの開発	○
熊本県産業技術センター	醤油の特徴把握を目的とした網羅的香気成分分析技術の確立	—
	統計的手法を利用したゲルのテクスチャー予測	—

機関名	テーマ名	ナレーション
熊本県産業技術センター	結晶性CNF/BNナノコンポジット材料を用いた水性放熱塗料の開発	—
	熊本県産業技術センター 概要	—
大分県産業科学技術センター	CMM倶楽部の活動	—
	高精度かんしょ「べにはるか」の加工特性評価	○
	電磁鋼板の磁歪のIEC標準測定	○
宮崎県工業技術センター	先端技術イノベーションラボ「Ds-Labo」による企業競争力の強化支援	—
	太陽光パネルの基板ガラスをフィラーとして活用した光透過性複合材料の開発	—
宮崎県食品開発センター	油の中にナノ分散された水溶性食品素材	—
	剣道競技用マスクの開発と流体解析による可視化	○
宮崎県食品開発センター	日向夏飲料の「飲みやすさ」と「好ましさ」の要因となる官能特性の検討	—
	焼酎粕を用いた機能性成分高含有エコフィードの開発	○

機関名	テーマ名	ナレーション
鹿児島県工業技術センター	鹿児島県工業技術センターの業務紹介	—
	レーザー加工型板による新しい陽刻技法を用いた薩摩焼の研究	○
	伝統食品「山川漬」の製法と品質の特徴	○
沖縄県工業技術センター	決まり手は造粒!「玄米フーディクル®」の開発支援	○
	アルカリ耐性細菌の産業利用	○
	金めっきフレキシブル基板製造装置の開発	—
産総研センシングシステム研究センター	目に見えない静電気分布を発光させることにより直接的な可視化に成功	○
	ドライバーモニタリング応用に向けた耐熱性圧電シートセンサの開発	○
産総研ミニマルIoTデバイス実証ラボ	ミニマルIoTデバイス実証ラボ	○
	PKG1個の試作からトータルサポート	○
	ミニマルパッケージング工程・装置の開発	○
	各種System in Packageに対応したプロセス	○